

## 不登校児童生徒への対応事例16（高等学校第3学年女子）

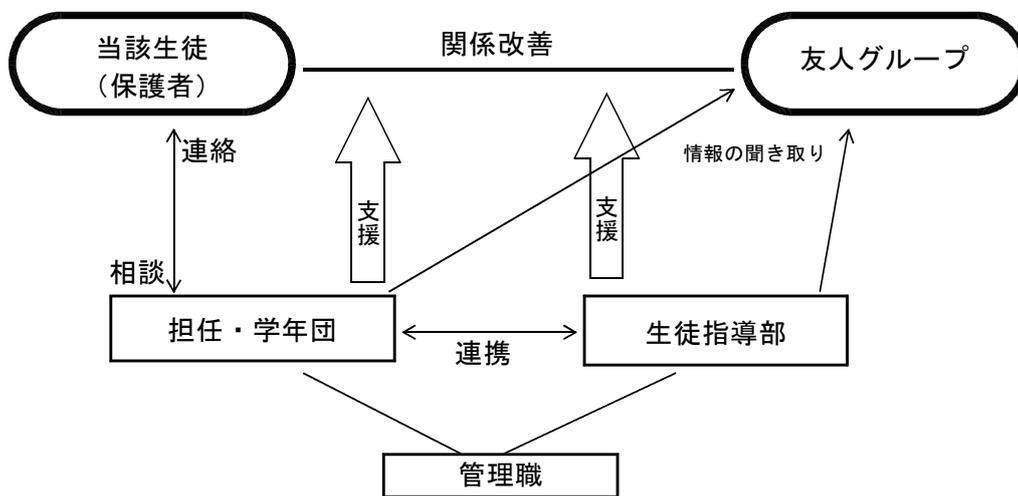
### ～生徒間の関係改善に向けた取組～

#### 問題の把握

当該生徒は7月初旬から学校を欠席しがちになった。ホームルーム担任は家庭に連絡し、家庭訪問を行って事情を確認した。当該生徒は、友人グループから仲間外れにされ、さらに誹謗中傷されていると感じ、学校に行きたくなくなったとのことであった。

#### 対応状況

- 1 ホームルーム担任は家庭訪問を行い、当該生徒が、友人グループから仲間外れにされた理由を明確にし、進路実現に向けて最後まで努力したいと思っていることなどを確認した。
- 2 学年団は、ホームルーム担任と情報を共有するとともに、管理職同席のもと当該生徒及び保護者と面談し、今後の方針等について話し合った。
- 3 学年団は、当該生徒に対する教育相談体制を確認するとともに、友人グループの生徒たちから事情を聞き、そこから得た情報を当該生徒に伝えるなど両者の関係改善に向けた取組を行った。
- 4 当該生徒は通常通り登校できるようになったが、ホームルーム担任は当該生徒の保護者から、当該生徒が友人グループとの一層の関係改善を望んでいる旨の連絡を受けた。
- 5 学校は、管理職・学年団・生徒指導部連携のもと、当該生徒と友人グループが話し合う機会を設定するなど関係改善に向けた取組を行った。



#### 不登校の問題を速やかに解消するためのポイント

- ・ホームルーム担任を中心として早期に生徒の変化に気づき、当該生徒が不登校となった要因や背景を適切に把握すること。
- ・ホームルーム担任が問題を一人で抱え込まないよう組織として対応し、当該生徒や保護者が必要としている支援を行うこと。